



洪水対応演習を行いました！

4月26日(金)に、湯沢砂防事務所管内で大雨による土砂災害発生を想定した、対応演習を実施しました。

演習では、応急復旧工法の検討や関係各所との情報の伝達等本番さながらに実施しました。

平成30年は7月の豪雨によって、全国で1,748件の土砂災害が発生しました。それにより、119名が犠牲となりました。一年間の土砂災害発生件数は、3,451件で、国土交通省が集計を開始した昭和57年以降で最多件数となりました。今までの一年間の平均発生件数(1,015件)の3.4倍を記録する土砂災害の多い年でした。



本番さながらに実施！



湯沢砂防事務所管内においても、平成23年7月の新潟・福島豪雨や平成25年9月の台風18号などの豪雨による土砂災害が各所で発生しています。

湯沢砂防事務所では、今回の演習を生かし、実際の災害発生時にも、状況の把握や応急対応を速やかに実施できるよう努めて参ります。